

授業科目名(英文名)	都市基盤工学特論B (Advanced Urban Infrastructure Engineering B)
担当者名	吉村 充功
学年	1
教科書	なし
目的または到達目標	21 世紀に入り、社会経済活動の高度化、価値観の多様化が進み、都市基盤である道路や鉄道などの事業(プロジェクト)のあり方は大きく変わってきています。そのため、これまでの事業単体を考えるだけでなく、複雑な社会現象をシステムとして把握していく必要があります。本講義では、土木計画や関連する諸分野を横断しながら、21 世紀の社会とされる知識基盤社会で必要となる社会基盤、都市基盤とは何かを様々な視点から解説、実例を示しながら講義を行います。知識社会で必要とされる社会基盤、都市基盤について自分自身で考えられるようになるこ
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○第1週 ガイダンス、概論 <ul style="list-style-type: none"> ■知識基盤社会の出現 ○第2週 知識基盤社会におけるインフラ(1) <ul style="list-style-type: none"> ■インフラストラクチャとは ○第3週 知識基盤社会におけるインフラ(2) <ul style="list-style-type: none"> ■インフラストラクチャ整備の重要性 ○第4週 知識基盤社会と新しい消費パターン(1) <ul style="list-style-type: none"> ■消費理論 ○第5週 知識基盤社会と新しい消費パターン(2) <ul style="list-style-type: none"> ■消費行動 ○第6週 知識基盤社会と新しい生産パターン(1) <ul style="list-style-type: none"> ■生産理論 ○第7週 知識基盤社会と新しい生産パターン(2) <ul style="list-style-type: none"> ■生産様式 ◇ここまでの内容に関する学修課題を課します(宿題)。 ○第8週 知識基盤社会におけるコミュニケーション(1) <ul style="list-style-type: none"> ■交通・通信とコミュニケーション ○第9週 知識基盤社会におけるコミュニケーション(2) <ul style="list-style-type: none"> ■交通行動分析 ○第10週 知識基盤社会における大都市(1) <ul style="list-style-type: none"> ■大都市の役割 ○第11週 知識基盤社会における大都市(2) <ul style="list-style-type: none"> ■都市の空間構造 ○第12週 知識基盤社会における地方都市(1) <ul style="list-style-type: none"> ■地方都市とサービス生産 ■大分市の事例 ○第13週 知識基盤社会における地方都市(2) <ul style="list-style-type: none"> ■地方都市の活力 ○第14週 国際化時代と都市の発展(1) <ul style="list-style-type: none"> ■国際的知識社会の構造 ○第15週 国際化時代と都市の発展(2) <ul style="list-style-type: none"> ■都市・地域計画の新しいパラダイム ○第16週 期末試験
関連科目	都市基盤工学特論A

受 講 心 得	数学モデルなどの理論が出てくるため、出席するだけでは単位取得できません。
課 題・質 問 等 の 受 付 方 法	質問はいつでも受け付けます。また、e-mail(yoshimuramt@nbu.ac.jp)、ユニバーサルパスポートでも受け付けます。
授 業 の 形 式	パワーポイントを用いた講義を実施します。
履 修 上 の 注 意 または 履 修 条 件	なし
成 績 評 価 の 方 法	演習レポート(20 点)及び期末試験(80 点)により総合的に評価します。
参 考 文 献 及 び 指 定 図 書	知識社会と都市の発展(森北出版) 小林潔司 他 編著